

特 67

406

神石郡地誌



森 慶次郎



025893-000-7

特67-406

神石郡地誌

斜森 慶次郎/著

M27

ADC-3450



神石郡地誌

海內幾萬里。兼外幾億程。欲審其地理之如何。則必先自吾鄉土。古人云千里之行始於足下。斜森克軒君著神石郡地誌。以課其學僮者亦不外於此意也。且夫愛國始於愛鄉土。書中往々記沿革者爲是耳。君久從事毓英。編次有法。授受之際。所便益決可不淺鮮矣。乃題。

明治甲午孟夏

斌 撰

甲午題

志坦



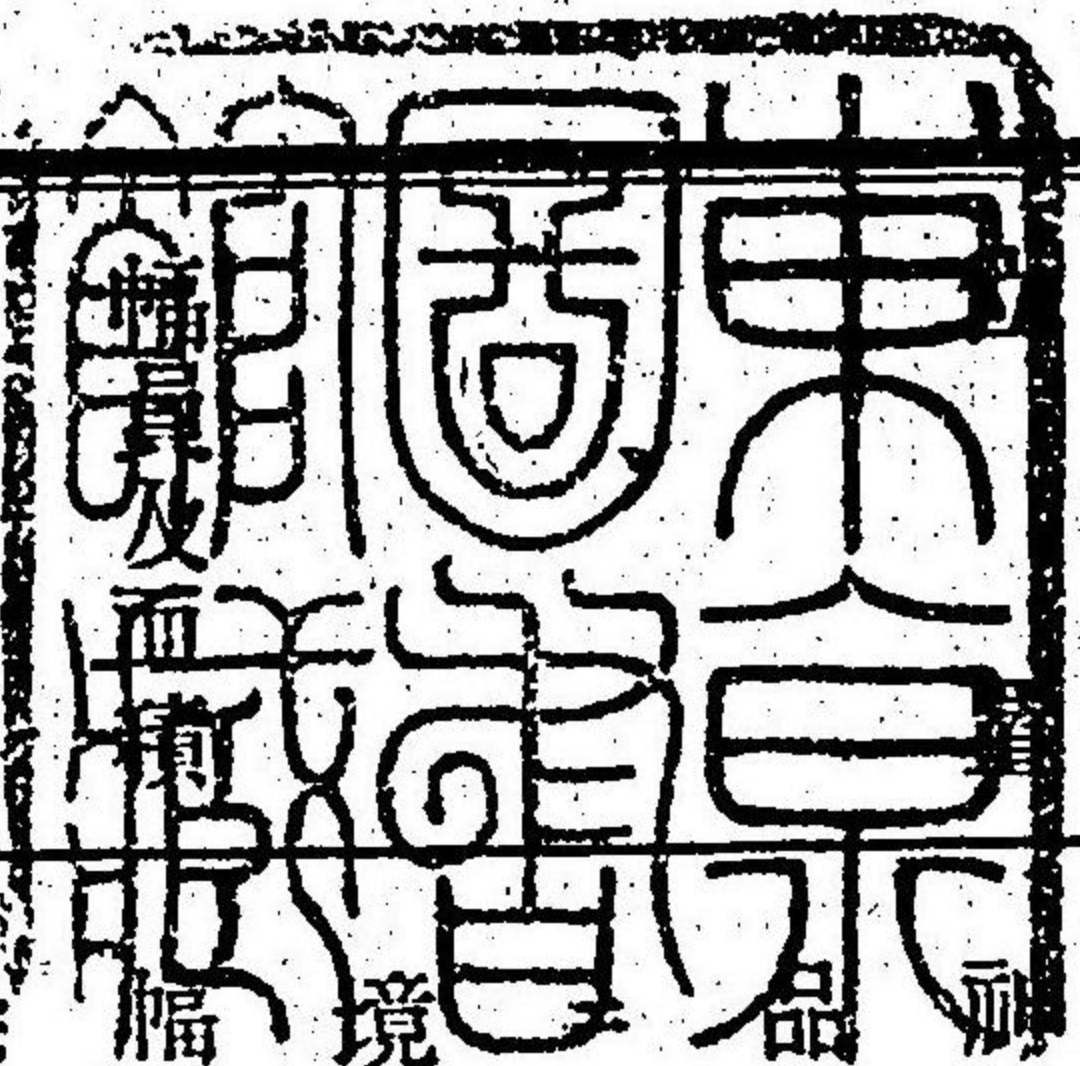
目錄

- 第一章 總論及史談
- 第二章 區劃
- 第三章 山岳城趾及史談
- 第四章 川流
- 第五章 邑
- 第六章 神社寺院
- 第七章 生業及產物
- 第八章 交通
- 第九章 表彰
- 第十章 風俗宗教
- 第十一章 教育

神石郡地誌

第一章

斜森慶次郎著



神石郡ハ廣島縣備後國ノ東端ニ位シ南ハ安那  
品治蘆田ノ三郡ニ接シ西北ハ甲奴郡及奴可郡  
連リ東ハ一帶岡山縣備中國(川上後月兩郡)ニ  
境ス

幅員東西六里南北相如ケリ其面積貳十壹方里  
余アリ

山林原野  
及地價

山林壹萬五千四百十二町其地價壹萬八百三圓  
原野百九十四町九反其地價壹千貳百八十壹圓  
ナリ(總テ官有地ヲ除ク)

戸數人口  
郡名由來

戸數凡五千余人口殆ト二万九千アリ  
昔龜石郡ト名ツク今ハ龜石一村ノ名トナル神  
石加女志ト訓ス依テ神石ト書シ字運瀬喜ト呼  
ヒ郡ノ名トス

白鹿ヲ獻ス

白鳳二年(天武天皇)備後ノ國司白鹿ヲ本郡ニ獲  
テ之ヲ獻ス是ニ於テ勅シテ本郡ノ課役ヲ復シ  
并ニ天下ニ大赦ス

白雉ヲ獻ス

大長四年(文武天皇)本郡ヨリ白雉ヲ獻ス  
地勢概チ高地ニシテ重嶺攢峰連亘セリ隨テ平  
地少ナク氣候寒冷ナリ地質ハ所々ニ瘠土黑墳  
アレトモ全郡佳ナラザルハナシ故ニ開墾直チ  
ニ下種スルヲ得ルノミナラズ最モ煙草ニ適セ

地勢地質及  
氣候

沿革

ルヲ以テ他郡ニ勝リテ生育ス然レトモ米麥ニ  
適スルハ小畠上阿下父木野高蓋ノ諸村ヲ專ラ  
トス  
冬季寒暖計二十一度乃至三十五度ナルヲ以テ  
積雪久シク消ユルナシ夏季ハ七十度乃至八十  
五度ナルヲ以テ三伏酷々苦熱ヲ覺ヘズ  
本郡ハ戰國ニ至リ毛利氏安藝ニ據リ四隣ヲ併  
吞シ十州ヲ跨有スルニ當リ毛利氏ニ屬セリ毛  
利氏衰ヘ福島正則安藝備後ニ封セラレ正則罪  
アリ又封ヲ収メラレ元和五年(後水尾天皇)大和  
郡山城主水野日向守勝成備後國神石深津品治  
芦田安那沼隈ノ六郡及備中國小田後ノ兩郡十

万石ニ移封セラレ水野氏ノ領スル所タリ降テ  
元祿十一年(東山天皇)水野松之丞勝峯卒シ嗣絶  
ヘ支族數馬勝長ニ賜ヒ其後ヲ立シム全十三年  
出羽國山形城主松平下總守忠雅封ヲ移サル全  
年備前池田候驗地アリ所領十萬石ニ余ルヲ以  
テ本郡ヲ分轄シ德川氏ノ直轄トナシ倉敷(備中)  
支配ヨリ大森(石見)支配ニ属シ甲奴郡上下ニ出  
張所ヲ置テ管セリ(其高甲奴神石合セテ五萬石  
ナリ)寶永七年(中御門天皇)下野國宇都宮城主阿  
部備中守正邦備後國福山ニ移封サレ忠雅ヲ伊  
勢桑名ニ移封ス故ニ本郡ハ阿部氏ノ領スル所  
ニアラサリキ享保二年(中御門天皇)中津藩主奥

平大膳大夫昌成神石郡(小畠常光上村光信光末  
父木野高蓋木津和田頭牧草木東福永西福永相  
渡高光南永野北永野三坂新免東油木西油木安  
田阿下下豐松二十四ヶ村)甲奴郡(階見岡屋斗升  
水永佐倉矢多田井永二森國留拔湯太郎丸安田  
十二ヶ村)總計二萬石(二萬十五石五斗五升五合)  
ヲ増封セラレ支配所ヲ小畠ニ定メ村田氏代官  
タリ其余十二ヶ村ハ舊ニ依リ甲奴郡上下ヨリ  
支配スル所タリシカ嘉永六年(孝明天皇)阿部氏  
壹萬石ヲ増封セラレ始メ本郡十二村(龜石大矢  
井關阪瀬川時安近田上野花濟上豐松有木中平  
笹尾李)阿部氏ニ属セリ古川村ハ尙大森ニ属セ

シカ後倉敷支配ニ轉セリ王政維新廢藩置縣ノ制トナリ明治四年深津縣ニ屬シ全五年小田縣トナリ全八年岡山縣トナリ全九年廣島縣ニ屬ス神石郡役所ヲ小畠ニ置ク全十五年蘆田品治神石甲奴ト合シ郡役所ヲ蘆田郡府中市村ニ置ク今尙然リ

第二章

區劃

明治二十三年町村制實施ニ際シ本郡三十ヶ村ヲ十一ニ區劃シ各村役場ヲ置ク左ニ其名稱位置ヲ列舉ス

村名	役場位置
小畠村 龜石村 常光上村	小畠村

阿下村組合村役場

高蓋村 木津和光信村 光末村 高蓋村

父木野村組合村役場

來見村役場(大字井關大矢) 大字井關

阪瀨川時安)

油木村役場(大字油木安田) 大字油木

近田村上野村花濟村李村 近田村

上豐松村組合村役場

中平村下豐松村有木村 中平村

笹尾村組合村役場

新坂村(大字新免三坂) 大字新免

牧村田頭村草木村福永村 牧村

組合村役場

高光村古川村組合村役場

高光村

永渡村(大字永野相渡)

大字永野

小野村役場

小野村

第三章

山岳城趾

星居山ハ阿下草木牧田頭ニ跨リ巍然トシテ蒼翠濃カナリ高サ二千八百尺アリ山巔ヨリ四顧スレバ諸山(石州三瓶山奴可猫山甲奴翁山沼隈熊峰賀茂野呂山灰峰備中飯野山品治蛇圓山御調千光寺山世羅新山)歴々タリ北方雲烟模糊ノ中ニ白色ヲ呈スルモノハ即チ伯州大山ノ雪ヲ戴ケルナリ南ハ遠ク海ヲ隔テ、讚豫ノ諸山天

際ニ慘淡タリ近時此處ニ陸軍測量臺ヲ設置ス其麓ニ御所谷アリ是レ有名ノ牧場ナリ傳ヘ云フ孝徳天皇ノ御宇穴戸ノ國ヨリ白雉ヲ献ス依テ白雉ト改元シ白雉五年瑞ノ出處ニ行幸アリ此地ニ崩レ給フト又曰ク文武天皇ノ御宇當郡ヨリ白雉ヲ献ス其年此處ニ孝徳天皇ヲ祭ルト今尙異様ノ陵存在セリ古川村ノ北隅ニ大小京ノ二山アリ甲奴郡ノ御神山ニ連レリ松柏鬱蒼トシテ繁茂セリ岩熊山ハ高光村ノ西方ニアリ龍王山ハ福永村ノ北境古川村ニ跨レリ二子山ハ永渡村ノ中央部ニ峙テ其南ニ愛宕山アリ



二子山城ハ建久中(後鳥羽天皇)横山時廣(鎌倉ノ臣)ノ子時兼和田義盛討死ノ後備中ニ蟄居シ後此處ニ住ス

大仙山ハ小野村ノ東境ニアリ備中國西山村ニ接セリ

小野城主赤木秀忠尼子氏ニ從ヒ拔群ノ一士ナリシ播州龍野ニテ討死ス龍野大安寺ニ葬ル

權現山ハ油木村ニアリ滿山鬱葱トシテ樹々枝ヲ交ニ其巔ニ城趾アリ高野部景元始東油木井上城ニ居リ後此處ニ築テ移ル景元ノ子景縷ト云フ尼子ノ簇下メリ其墓村内ニアリ(銘ニ勝清院大山禪士トアリ)

土居城ハ天文年中矢田貝友時據リテ尼子氏ニ應セシ所ナリ功アリ晴久ヨリ一字ヲ賜ヒ久時ト改ム後出雲富田城邊ニテ討死ス

龍山王ハ笹尾村ノ中央ニアリテ其北方ニ高松山ノ城趾アリ天文ノ頃大内家ノ臣平群秋陶居城セリ

高丸山ハ有木村ノ東北ニ位シ其西麓ニ雌雄ノ瀑布アリ此山脉中ニ日野山アリ形勝ヲ以テ著ル日野山ノ西麓ニ中山城趾アリ

有木村ハ素ト中山村ト云フ有鬼氏居住セシヨリ有鬼村ト改ム今易キニ從ヒ有木ト書ス有鬼氏ハ吉備宮別當ノ裔ナリト云フ

八國峯ハ下豊松村ノ東南ニアリ米見山ハ上下  
 豊松村ノ境ニアリ深林葱々タリ上豊松ニ新庄  
 山城アリ  
 元弘三年(後醍醐天皇)内藤實豊城ヲ上豊松ニ築  
 キ官軍ニ應ス甲奴郡佐倉ノ人櫻山四郎入道茲  
 俊本國ノ兵ヲ舉ケ藝州沼田城ヲ敗リ實豊ヲシ  
 テ其城ヲ守ラシム後茲俊没シ實豊戦死ス  
 仙養カ原ハ近田上豊松及李ノ三村ニ跨リ世ニ  
 著名ナル曠原ナリ原上ニ小丘アリ龍王山ト云  
 フ遠ク階岳ヲ望ムヘシ  
 大仙山ハ上野村ノ西部ニアリ  
 青瀧山ハ來見村字時安ノ東南安那郡ノ境ニア

リ現今銅礦ヲ採掘ス  
 九鬼山ハ小畠市街ノ東ニ峙ツ  
 天文中(後奈良天皇)馬屋原正國毛利ニ属シ雲將  
 ナ敗テ功アリ志摩里ヲ正國ニ賜フ正國城ヲ九  
 鬼ニ築テ移ル  
 有井城ハ上村ニアリ馬屋原氏ノ故墟ニシテ馬  
 屋原氏其先ハ常陸大掾國香ヨリ出ツト云フ元  
 暦元年源頼朝藏人允正友ヲ備中水越馬屋原ニ  
 封ハ因テ氏トス(正友右馬介平忠政ノ季子ナリ  
 保元ノ亂父兄誅ニ伏ス正友尙幼ナリ乳媪携ヘ  
 丹波ニ匿ル壽永中正友頼朝ニ仕ヘ功アリ子孫  
 相嗣キ鎌倉ニ仕フ貞宗ニ至リ備後神石郡志摩

里邑ヲ増賜ス(志摩里ハ元十一村ナリシカ末元折口酒屋小畠ヲ合シテ小畠ト稱シ其他父木野光末常光光信上村龜石ノ七村ヲ云フ)五殿山ハ父木野村ノ北部ニアリ父木野村ハ永録ノ頃(正親町天皇)八尾ノ城主(芦田郡出口)杉原元康ノ領スル所ニシテ家老入江正高來リ住ス高白山ハ高蓋村ニアリ星居山脈ニ連レリ蘆田郡相方城主有地元盛高蓋地方ヲ領セシテ以テ其一族有地森信ヲシテ住セシム森信毛利氏勢州阿野津ヲ攻ムルニ當リ先登シテ討死セリ

川流

廣石山ハ木津和村ノ東部ニアリ承久三年(順德天皇)郡司木津和太郎與助義時ニ從ヒ戰功アリ

第四章

東城川ハ奴可郡東城町ヨリ來リ小野新坂油木ノ村境ニ至リ帝釋川ト合シテ小野村ヲ環流シテ備中ニ入ル是ヲ成羽川ノ上流トス字新免ニ棧橋アリ構造巧ナリ帝釋川ハ奴可郡帝釋村ヨリ來リ永渡村字犬瀬ニ至リ高光川ヲ併セ危巖幽峽ノ間ヲ南流シ和宗ニ至リ入谷川ヲ合セ東折シテ田川瀬ニ至リ田川瀬川ト稱シ東城川ニ入ル此川ニ鱒川椒魚

ナ産ス

入谷川ハ源ヲ田頭村字竹ノ本ヨリ發シ星居山麓ヲ縈廻シ牧草木ノ溪流ヲ集メ油木村字入谷ニ至リ阿下川ト合シ草木永渡及油木ノ界ヲ貫流シテ帝釋川ニ入ル

牧村ノ山澗ニ洞穴アリ石乳ヲ生ス其洞穴深廣ナリ備中鐘乳穴ニ似タリ(鐘乳穴ハ井殿嶺ノ谷ニアリ黃葉夕陽村舎詩附録ニ石乳ノ事詳カナリ)

貝原川ハ源ヲ仙養カ原ヨリ發シ北流シテ上豊松村ノ中央ヲ貫キ笹尾油木ノ村境ヲ過キ河崎ニ至リ東城川ニ入ル

高光川ハ福永村ヨリ發シ古川高光ニ村ノ溪流ヲ聚メ永渡村ヲ貫キ犬瀬ニ至リテ帝釋川ニ入ル

此上流ニ一大石横ハル是ヲ相渡ノ雌梁ト云フ神橋(帝釋ノ神橋ヲ雄トシ是レヲ雌トス)ニ勝リテ幽閑ナリ

鹽尻川ハ下豊松村八國峯ヨリ發シ北流シテ中平ノ中央ヲ貫キ有木村仁伍ニ至リ有木川ト合シ曲流シ岩見ニ至リテ東城川ニ入ル

小田川(末流時安川トモ云フ)ハ光信光末兩村ノ山中ヨリ發シ東流シテ上村小畠村ヲ經南曲シテ來見村ヲ過キ安那郡ニ入リ山野川トナル

阿下川ハ高蓋村ノ廣石向山ノ小池ヨリ發シ東  
北ニ流レ阿下村ノ中央ヲ貫キ油木村ニ至リ草  
木川ト合シ入谷川トナル  
炎木野川ハ源ヲ村ノ西北ニ發シ東南ニ下リ品  
治郡ニ至リ神谷川トナル

第五章

小畠驛ハ小畠村小田川ノ西ニアル小邑ナリ戸  
數八十餘人口三百五十ナリ南尾道ヨリ新市ヲ  
經テ雲伯ニ通スル縣道市街ヲ貫通ス此地維新  
前中津藩奥平家ノ代官所ヲ置ケリ廢藩置縣ノ  
後郡役所ノ設置アリ繁盛ナリシカ現今ハ唯村  
役場郵便局尋常高等小學校等アルノミ

邑

油木驛ハ油木村ニアル小邑ニシテ戸數九十餘  
人口殆ント四百アリ福山ヨリ東城ヲ經テ雲伯  
ニ通スル縣道其中央ヲ貫キ商業稍盛ナリ現今  
油木警察署福山區裁判所油木出張所廣島大林  
區油木小林區署尋常高等小學校郵便局村役場  
等アリ殖牛會社ハ良好ナル和洋混合牛ヲ蕃殖  
ス驛ノ下舊道ノ側ニ清冷タル涌泉アリ古昔西  
行法師ノ手ニムスフ岩間ノ清水底澄少テ行カ  
フ人ノカケハ涼シキ詠歌ヲ遺セルヲ以テ其名  
顯ル  
暮ヶ峠ハ郡ノ西北部福永村ノ東ニアル小市ニ  
シテ高蓋ヨリ雲伯ニ通スル驛路ニ當リ人馬ノ

交通多シ

高蓋驛ハ村ノ西南ニアリテ尾道ヨリ府中ヲ經テ北暮ヶ峠ニ通スル線路ニ沿ヒ小島驛ノ西一里余ニアリ通商ノ便ナリ

小吸井關犬塚ハ福山ヨリ北方ニ通スル沿道ニアリテ人馬ノ來繁シ

第六章

神社寺院

神社三十五寺院三十八各地ニ散在セリ

小島村ニ龜山八幡社アリ老杉陰森ナリ治曆中ノ勤請ニテ有井城主馬屋原氏再建スル所ナリ是レヲ本郡郷ノ社トス

岩屋寺ハ小島村ニアリ禪宗ニシテ元岩屋山能

救寺ト言ヒシカ大永年中(後柏原天皇)馬屋原正國再興シテ岩屋寺ト号ス(正國宗治并ニ正國ノ母能救院ノ石塔岩屋寺ノ東北會下谷ニアリ五輪ノ塔ニシテ銘ナシ)

法雲寺ハ父木野村ニアリ法雲和尚ノ開基ナリ天正中(正親町天皇)甲州武田家ノ一族某僧トナリ惠林寺ニ住ス後西國ニ下リ此ニ一寺ヲ造營シ法雲寺ト名ツケリ後元和五年水野日向守遊獵シ此寺ニ至リ兵書ヲ借覽セラレ歸城ノ後偽冊ヲ返シケレバ法雲大ニ怒リ本書ヲ請テ止マス依テ備中神島ニ配流セラレテ死ス  
光末村ニ清龍山八幡神社アリ社殿ノ構造甚タ

巧ナリ

時安ニ吉岡神社志良賀神社ノ二祠アリ昔此村ニ吉岡志良賀ノ二人塚ナ争ヒ遺恨長シテ討死セリ各其靈ヲ祭リシナリ

石神社ハ新免ニアリ神臺九尺四方ノ大石ナリ昔伊勢參宮ノ人歸途此處ニ露宿ス時ニ露驗アリ依テ社ヲ建テ祭リシナリ

油木驛ノ西方數丁ヲ隔テ、神社アリ龜山鶴山ト稱シ古杉老椈繁茂シ殊ニ藪林アリ巨大ノ竹幹ヲ産ス器具ニ作り甚タ堅固ナリ

權現山ノ南ニ永聖寺アリ東麓ニ永泉寺アリ

第七章

生業及産物

生業ハ農ヲ以上主トス僅カニ商ヲ營ムモノアリ牧畜ハ本郡ノ特業ニシテ他ニ類ナシ産物ハ牛煙草米炭茶蒟蒻松茸等ナリ

第八章

交通

交通ハ往時頗ル不便ナリシカ聖代ノ德澤ニ浴シ車道ヲ開鑿シ奴可郡東城町ヨリ東南ニ通シ藤坂ヲ經テ油木ニ至リ宇安田ヨリ兩岐シ一ハ南ニ來見村ヲ經テ安那郡ニ出ツ一ハ西南小島ニ入り父木野村ヲ經テ芦田郡ニ出ツ西部ハ奴可郡ヨリ相渡ニ來リ福永牧ヲ經テ高蓋ヲ過キ芦田郡ニ出ツ故ニ通行運大ニ便ヲ得且ツ郡中ニ六ヶ所(油木小島高蓋福永新坂井關)ニ郵便局

ノ設ケリテ音信自在ニ通スルヲ以テ不便ヲ感  
セズ

第九章

昔田頭村ニ孝子アリ其名ヲ君女ト云フ狼ヲ撃  
テ母ヲ救フ(君女歳十四一日母ニ從テ薪ヲ採ル  
歛テ一狼アリ突出母驚キ仆ル狼其上ニ座ス忽  
チ一材刀ヲ抜キ撃テ其脊ニ中ツ狼潤中ニ償ル  
女水ヲ掬ミ母ニ含マヌ氣息漸ク蘇ス乃拔テ還  
ル里人之ヲ聞キ槍ヲ捉リ潤ニ入り狼ヲ覓ム己  
ニ逸ス歸ラント欲ス忽チ荊棘ノ中唯々響ヲ作  
スヲ聞キ之ヲ視レバ則脊梁折レテ起ツ能ハス  
蛇行去ラント欲ス便チ刺テ之ヲ斃シ曳テ而シ

表彰

テ歸ル夫レ一撃狼ヲ殪ス多力丈夫猶ホ且ツ能  
ハス而ルテ况ヤ細嫩女子ニ於テチヤ蓋シ母ヲ  
救フノ誠凜トシテ天地ヲ貫ク此時ニ方リ自ラ  
其稚タルヲ知ラスト云フ石ヲ射リ矢ヲ没ス誠  
ニ其理アルナリ)

寛政七年(光格天皇)小野村ニ長兵衛ト云フ者アリ  
年八十七公利ノ爲メニ勞ヲ辭セス奇特ノ旨  
ヲ以テ褒賞ヲ賜フ

和田元吾氏ハ(夙ニ力ヲ衛生修路等ノ事ニ致シ  
銳意公益ヲ圖ルノ旨ヲ以テ明治十八年今上陸  
下廣島ニ御臨幸ノ際白縮緬壹匹下賜セラレ  
東城町ヨリ金丸ニ達スル道路ハ實ニ百難万苦



ノ勞ヲ積ミ漸ク開墾ノ功ヲ竣ル發起者和田元  
吾井上利一兩氏ノ功永ク滅ス可ラズ宜ナル哉  
（夙ニ志ヲ殖産興益ニ勵シ郡邑ノ萎靡一ニ運輸  
梗塞ニ基因スルヲ覺リ明治十五年奴可郡東城  
町ヨリ蘆田郡金丸村ニ達スル道路改修ヲ計畫  
シ拮据奔走沿道ノ郷村ヲ勸誘シ率先私財ヲ捐  
テ資金ヲ募リ全十七年六月工ヲ起シ險ヲ夷ケ  
峻ヲ穿テ翌年八月其功ヲ竣ル前後四年間幾多  
ノ障礙ニ遭遇シテ毫モ屈撓セス遂ニ行程十有  
余里ノ坦道ヲ得爾來運輸開通スルニ至ル其成  
績著明ナリ）明治二十一年七月各勅定ノ藍綬褒  
章ヲ賜フ

小島村外四ヶ村組合村長村田豐氏ハ（資性篤實  
曾テ郡吏トナリ尋テ戸長ノ職ヲ奉シ町村制實  
施ノ際組合村長ニ擧ラレ能ク地方制度ノ主旨  
ヲ体認シ專ラ自治ノ發達ヲ圖リ村有財産ヲ増  
殖シ養蠶牧畜教育衛生ニ勸誘シ大ニ力ヲ道路  
ノ開修ニ盡ス等）多年公共ノ事務ニ誠實勤  
其勞効顯著ナリ仍テ明治二十六年八月勅定ノ  
藍綬褒章ヲ賜フ

### 第十章

### 風俗宗教

人民ノ性質ハ朴實温順ニシテ農事ニ勤勉ス一  
層學理ト機械ノ力ヲ應用セハ遺利ヲ拾集スル  
蓋シ難キニアラザル可シ

言語ハ全郡畧一樣ナリ概テ了解シ易ケントモ  
往々訛言ノ弊アルヲ免レズ  
衣食住ハ舊ニ依リ朴素ニシテ修飾セザルヲ旨  
トス

第十一章

教育ハ全郡ニ二十九ヶ所ニ尋常小學校アリ小  
畠油木兩所ニ高等科ノ設ケアリ以テ教育ノ上  
進ヲ謀レリ學齡兒五千六百余中修學兒殆ト四  
千ニ垂ントス學費ヲ増加シ教員ヲ增聘セハ其  
進歩期シテ待ツベシ

明治廿七年九月廿日印刷  
全 廿七年九月卅日發行

正價拾錢

版權  
所有



廣島縣神石郡小島村  
五十七番屋敷寄留  
著作 者 斜 森 慶 次 郎

廣島縣御調郡尾道町  
宇土堂三百十一番屋敷  
發行兼印刷人 三 木 半 兵 衛

廣島縣芦田郡府中市村  
七百七十八番屋敷  
發行人 加 藤 条 次 郎

廣島縣御調郡尾道町  
宇土堂三百十一番屋敷  
印刷所 三 木 活 版 所



五言詩

田賦 三 木 五 頌 頌

宇土堂三百十一番屋建

經 行 人 賦 蕪 人 桑 火 頌

以百以十八番屋建

經 行 兼 田 賦 人 三 木 半 兵 南

宇土堂三百十一番屋建

善 行 善 除 森 變 六 頌

正十以番屋建

全 廿 廿 半 氏 氏 卅 日 登 行  
開 廿 廿 半 氏 氏 卅 日 登 行

五言詩

